※令和４年度以降入学生用

学校番号	316

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	(学) 世界史研究	単位数	3 単位	年次	3 年次
使用教科書							
副教材等	アカデミア世界史（浜島書店） 詳説世界史 10 分間テスト(山川出版社)						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

近世・近代以降の世界の歴史の大きな枠組みと展開にかかわる諸事象について、地理的条件や日本史と関連付けながら理解するとともに、事象の意味や意義、特色などを考察し、より良い社会の実現を視野に、歴史的経緯を踏まえて地球世界の課題を探究する。その際、主にヨーロッパ州・アメリカ州・アフリカ州・オセアニア州を取り上げながら、学習を進めていく。

2　学習の到達目標

①世界史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
②世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、史実に基づく課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
③世界史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能が身に付いている。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力が身に付いている。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、他国や他国の文化を尊重する姿勢が身についている。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	諸地域の交流・再編	1. 大交易･大交流の時代 2. 近世ヨーロッパ世界の動向	a:大航海時代と各地の結びつきについて理解するとともに、それに関する様々な情報を適切にまとめる技能が身に付いている。 b:絶対王政や啓蒙専制主義の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、表現することができる。 c:アジア諸地域とヨーロッパの再編について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	中間考査 期末考査	中間考査 期末考査	振り返りシート 提出物 等
2学期	諸地域の結合・変容	1.産業革命と環大西洋革命 2.イギリスの優位と欧米国民国家の形成 3.帝国主義とアジアの民族運動 4.第一次世界大戦と世界の変容	a:世界市場の形成と諸地域の結合、帝国主義とナショナリズムの高揚、諸地域の変容について理解し、様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能が身に付いている。 b:産業革命を背景とした帝国主義やナショナリズムの高揚、諸地域の変容に関わる諸事象の原因や結果、事象相互の関連などに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、表現することができる。 c: 世界市場の形成と諸地域の結合、帝国主義とナショナリズムの高揚、諸地域の変容について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	中間考査 期末考査	中間考査 期末考査	振り返りシート 提出物 等

※令和４年度以降入学生用

3 学 期	地球世界の課題	1.第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成 2.冷戦と第三世界の台頭 3.冷戦の終結と今日の世界	a:第二次世界大戦と国家機構の形成と平和への模索、経済のグローバル化と格差の是正、科学技術の高度化と知識基盤社会、地球世界の課題の探求について理解し、地球世界の課題に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能が身に付いている。 b:第二次世界大戦への反省の立場からの国家機構の形成と平和への模索、地球世界の課題の探求などに関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解くことができる。また地球世界の課題について多面的・多角的に考察し、表現することができる。 c:地球世界の課題の探求について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究，解決しようとしている。	小テスト	小テスト	振り返りシート 提出物 等

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度